



学校近くの公園へ行ってみると…

今週の放課後、学校近くの公園へ行ってみました。小さな公園でしたが、そこでは20人くらいの小学生が元気よく遊んでいました。

世の中では、「最近、外で子どもたちを見かけなくなった」「最近の子どもたちは外で遊ばなくなった」などと言われていますが、子どもたちが元気に外遊びしている姿を見て、私はとてもうれしくなりました。

“遊び”とは言いますが、遊びは、子どもたちの成長にとって、大切な“学び”の場でもあります。子どもたちは、遊びを通して「ルールやマナーを守ること」「人間関係の築き方」「自然の移ろい」など、様々なことを自然に学んでいます。



ちょっと残念な光景が…

子どもたちが遊んでいる公園をよく見ると、そこにはたくさんのゴミが落ちていました。誰が捨てたものか、どこから飛んできたものかは分かりませんが、子どもたちの遊び場である公園、子どもたちの学びの場である公園、大人も子どもも、みんなできれいに使いたいものですね。



9月29日(水)
実際に公園に落ちていたゴミです。